

## 桐生版 CCRC 構想の早期策定について（新規）

地方移住を希望する元気なシニア世代を呼び込むための受け皿とすべく、桐生版 CCRC (Continuing Care Retirement Community) 構想の早期策定を求めます。起業意欲を持つシニア世代への創業支援や、空き屋を活用した安価な住居提供、まちの賑わいを生む交流スペースの整備など、桐生市の既存サービスを CCRC 構想として具体的に示すことで、移住者が長く活躍できるコミュニティの実現へとつながると存じます。人口問題の改善、地域の消費喚起、雇用の維持・創出など地域活性化の点からも早期の策定が必要と考えます。

また、子育て世代へのサービスが充実し高齢者と若年層が共生する桐生ならではの特性を生かし、桐生版 CCRC は山口県宇部市の構想と同じく、シニア世代に限らない「多世代」を対象にすることが好ましいと考えられます。スマートシティの推進、公共インフラの整備と併せ、桐生の暮らしやすさを多世代に発信することで、その効果を高めることが期待できます。

### 桐生市からの回答

本市では、先進地視察や庁内外の会議における意見交換等を適宜行いながら、第1期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づくCCRC構想の研究を実施してきましたが、桐生市版CCRC構想の策定については、当該構想の実行が市の医療・介護等に及ぼす影響や費用対効果、さらにはその持続可能性などを十分に検証した上で進める必要があると考えています。

今後も、誰もが健康時から終末期まで継続的ケアを受けながら安心して老後を過ごせる地域を目指していく中で、引き続きCCRC構想の研究を行っていききたいと考えています。

また、国においては中高年齢者の移住に重点を置いた当初の施策を見直し、年齢や障がいの有無等を問わず、移住者や関係住民等を対象とした「誰もが居場所と役割を持つコミュニティづくり」を推進するとしていることから、その動向を注視し、先進事例などの情報収集等を行ってまいります。

[回答担当] 保健福祉部健康長寿課長寿支援係